



『はじめての100か月育ちビジョン』 って、ご存じですか？

はじめての100 か月は、人生を幸せな状態(ウェルビーイング)で過ごすために特に大切な時期です

『はじめての100 か月』という言葉聞いた時に、何を思い浮かべますか？ 妊娠期から小学校1年生までがほしい100 か月。この時期に、子どもは様々な人やモノ、環境との初めての出会いを繰り返しながら育っていきます。

私たち大人は、子どもが人生の最初の一步を踏み出せるよう、社会全体で支え応援していくことが大切だということで、こども家庭庁からこのビジョンが出されました。これは、保育に携わる人だけでなく社会全体で考え“こどもがまんなかの社会”を実現していくこと、それが全ての人の幸せ(ウェルビーイング)にも繋がっていくことと提唱しています。

置かれた環境にかかわらず、全てのこどもの『はじめての100 か月』をみんなで大切にしていきたいと考え令和5年にこのビジョンが閣議決定されました。

志紀おおぞらこども園も、このビジョンの中にある「安心と挑戦」というキーワードに着目し、これを研究テーマの中にかかげ、保育を進めています。詳しい内容については、下記QRコードを読み取ってこども家庭庁のページを覗いてみてください。動画もあって、分かりやすく載ってますよ

「はじめての100か月」とは？



幼児期までのこどもの育ちの5つのビジョン

- 01 こどもの権利と尊厳を守る
- 02 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
- 03 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
- 04 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援する
- 05 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

志紀おおぞらこども園でも♡

『挑戦』というと“新しいことにチャレンジする”“難しいことに果敢に挑む”といったイメージにどうしてもなっていますが、このビジョンでは『安心』という土台をもとに『外の世界に目を向ける』『自分の世界を広げていく』ということを示しています。本園も、子どもたちの安心＝愛着(アタッチメント)な存在となるように、私たち職員も日々あたたかなかわりを通して信頼感や安心感を得るようにしています。

乳幼児の育ちには、「安心」と「挑戦」の繰り返しが大切



様々な人や自然・絵本などの環境と出会い、興味・関心に応じた「遊びと体験」をすることで、外の世界へ「挑戦」する



こどもが不安な時などに身近な大人が寄り添うことや安心感をもたらす経験を繰り返すことが「安心」という土台を築く



はじめての100か月

